

SGLT2阻害薬が有用であった OSAS合併2型糖尿病の1例

市来 俊弘

Toshihiro Ichiki

医療法人原三信病院 循環器科診療部長, 同 睡眠呼吸障害センター

はじめに

肥満はBody mass index(BMI)25 kg/m²以上で定義され, BMIが35 kg/m²以上は高度肥満とされる。肥満に起因あるいは関連して生じた健康障害(表1)を伴う場合は, それぞれ肥満症あるいは高度肥満症とされ, 健康障害の改善のために積極的な減量が必要である¹⁾。しかし, 実際には減量は容易ではない。

睡眠時無呼吸症候群(sleep apnea syndrome; SAS)と2型糖尿病は肥満に伴う重要な健康障害であり合併することも多い。今回, 高度肥満にSASを合併した

症例にSGLT2阻害薬を投与し, 有用であった1例を経験したので報告する。

表1 肥満に伴う健康障害

- 1 耐糖能障害, 2型糖尿病
- 2 脂質異常症
- 3 高血圧
- 4 高尿酸血症・痛風
- 5 冠動脈疾患: 狭心症, 心筋梗塞
- 6 脳梗塞: 脳血栓症, 一過性脳虚血発作(TIA)
- 7 非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)
- 8 月経異常・不妊
- 9 閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSAS), 肥満低換気症候群
- 10 運動器疾患: 変形性関節症, 変形性脊椎症など
- 11 肥満関連腎臓病

(文献1より引用)

コンサルテーション

【かかりつけ医からの紹介目的】

かかりつけ医にて肥満に対する栄養指導, 高血圧の治療を受けていた25歳男性。約1年前より, 昼間の眠気が強くなってきていた。最近, 家族から睡眠時のいびき, 無呼吸の指摘もあったため当科へ紹介となった。また, 空腹時血糖とHbA1cの上昇を認めたため当院糖尿病内科にも合わせて紹介された。

患者背景

【患者】25歳男性

【主訴】昼間の眠気

【既往歴】高血圧, 逆流性食道炎, 脂肪肝

【家族歴】特になし

【生活歴】運動はほとんどしていない